

友松会だより

平成 29 年度 横国 Day 報告号

発行責任者 会長 芦川 弘

平成 29 年 10 月 22 日 発行

横国 Day (ホームカミングデー)

平成 29 年 10 月 14 日(土) 10:00~16:00

会場 常盤台キャンパス

校友会主催による「横国 Day」は、第 12 回ホームカミングデーを改称し、卒業生だけでなく地域の人々にも情報発信を行い、より多くの方に、横浜国立大学を知っていただくためのイベントに発展を遂げての開催となりました。

友松会は、午前のプレイベントで第 24 回「豊かな教育を考える会」を開催し、本年度松沢研究奨励賞受賞者の研究発表と研究協議に多数の参加者がありとても盛会でした。

◇メインイベント

①長谷部勇一学長による講演

「グローバル・エクセレンス大学を目指して
＝真のグローバル教育の推進＝」



講演をする長谷部学長

②横浜国立大学 YNU ブラウド卒業生表彰式

友松会推薦の小島寅雄氏他

③「都市の未来へ挑戦する」

新学部、都市科学部紹介・学生スピーチ

④現地で学ぶ!

「音楽の都ウィーン」の現在(いま) 小宮正安教授

⑤「大学と地方銀行による持続的

かつ 魅力的な地域振興のあり方」

横浜銀行代表取締役頭取 川村健一氏

⑥部活動支援プロジェクト

「YNU CLUB AWARD 2017」

⑦グリークラブ&ピアノコンサート

現役、OB による愛唱歌合唱 及び

経済学部卒 川上敦子氏のピアノ演奏

◇交流会 16:30~18:00

第 24 回 豊かな教育を考える会 10:00~12:00

芦川弘友松会会長あいさつ

「豊かな教育を考える会」は、24 回になります。今回は、大学主体の横国 Day として行いますが、友松会の大事な核となることに変わりはありません。優れた



挨拶する芦川会長

実践をもとに、会員の皆様の熱い討議を期待しております。今日は中学校の英語の実践を発表して頂きます。小学校も英語教育が入ってきます。

この機会を大切にさせていただきたい。

大滝郁彦副教育学部長あいさつ

第 12 回目のホームカミングデー改め横国 Day で企画していただきました「豊かな教育を考える会」は、卒業生のご活躍を知る貴重な機会です。今年の 8 月に文科省から、国立教員養成系大学大学院教育学校の改革に関する有識者会議の報告書が出されました。内容は厳しく多岐にわたっております。これからの教育学部を模索していく上で、友松会の皆様には、ご支援ご協力をお願い致します。

<研究発表と協議>

○実践研究発表 松沢研究奨励賞受賞者 2 名

◆テーマ「主体的に取り組む子の育成 ~伝えあい、共に学び合う活動を通して~」

小田原市立千代小学校教諭 尾上知生先生 (H10 年卒)

※会場では、校内行事のためビデオにて発表

研究主題は、本校の現状から、他者との関わりを通して自分の考えを持ち、「伝え合い・共に学び合う」子の育成は、現代的な課題であり、実践的な研究が必要であると考えて設定した。研究主題に迫ることで、学習指導要領のねらいとされる「確かな学力」や「豊かな人間性」の育成等につなげていくことができる。研

究主題の「主体的に取り組む子」とは、「課題をみつけることができる子」、そして「その課題に対して自分なりの考えをもととする子」、さらには「試行錯誤しながらその課題を解決しようと努める子」の姿と捉える。



豊かな教育を考える会 会場の様子

とは、「相手の考えを共感しながら聞ける子」、そして「自分の思いや願いを伝えることのできる子」、さらには「お互いに共感しながらよりよいものを創り出していこうとする子」と捉える。

実践例として、3年社会「かまぼこをつくる仕事」、「みかんをつくる仕事」、3年国語「モチモチの木」を映像で紹介。

◆テーマ「英語科における ICT の可能性と

これからの ICT 教育」

鎌倉市立大船中学校総括論 岩田 明 先生 (H15 年卒)

日頃多忙を極める中で、どのように ICT を用いた授業が実践できるのか。現在、勤務校で私が実際に行っていることを中心に、ICT について考えてみると、以下の活用例を紹介。



提案する岩田先生

フラッシュカードに代わる A4 ノートパソコンの活用、大画面テレビでの授業、ICT を活用した新出文法の導入、ビデオを用いた授

業実践、インターネット

の活用、GOOGL MAP の活用、YouTube の活用、複写機の活用。さらに、1 人の生徒との出会いを動画により紹介し、「ICT の活用は目的ではなく手段」、「ICT の活用に明確な方向性を」、「授業準備とは」、「次につなげていくもの」、と ICT 教育の今後の方向について語り、他の英語科の教員にも生かしてもらいたいし、共に開発していけたらいいとまとめられた。

○研究協議

司会 落合 英雄 氏 (S49 年卒)

○指導講評



横浜国大教育学部 斉田 智里 教授(英語教育講座)

※研究発表と研究協議の詳細は、会誌「友松 108」に

掲載予定ですので、ご覧ください。

∞ 交流会 ∞



長谷部学長挨拶



交流会開会挨拶



会場の様子



歓談する会長・大澤氏・金子顧問